

令和8年10月20日
国土交通省関東地方整備局
千葉国道事務所

国道127号富津市金谷地先における応急復旧工事について

～世界最大級の大型解体機を活用した復旧作業に着手します～

台風第25号に伴う降雨により発生した斜面崩壊のため、国道127号元名区間(延長約1.5km)では通行止めを実施しています。

現在、被災箇所である富津市金谷地先において、高さ約60mの急峻な斜面に残る土砂や破損した落石防止ネットを安全に撤去するため、大型クレーンによる大型解体機の組立を進めています。今後、当該解体機を活用した応急復旧工事に着手します。

なお、復旧見通しについては、土砂や破損した落石防止ネットの撤去後に斜面の状況や安全性を確認した上で、改めてお知らせします。

【通行止め区間】

- 国道127号 千葉県安房郡鋸南町元名（あわぐんきょなんまちもとな）地先～
千葉県富津市金谷（ふつつしかなや）地先（延長約1.5km）

【施工場所・施工方法】

- 施工場所：国道127号 富津市金谷地先

<問い合わせ先>

関東地方整備局 千葉国道事務所

電話：043-287-0311（代表） メールアドレス：ktr-chiba-koho@mlit.go.jp

副所長 宮沢（みやざわ） （内線：205）

工務課長 永岡（ながおか） （内線：411）

【施工場所・施工方法】

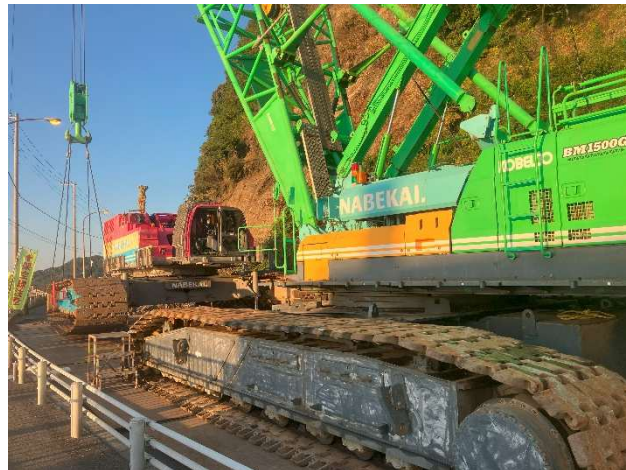


■設計・施工会社

応急復旧施工：ライト工業株式会社

区画線・舗装工：日本道路株式会社

設計：パシフィックコンサルタンツ

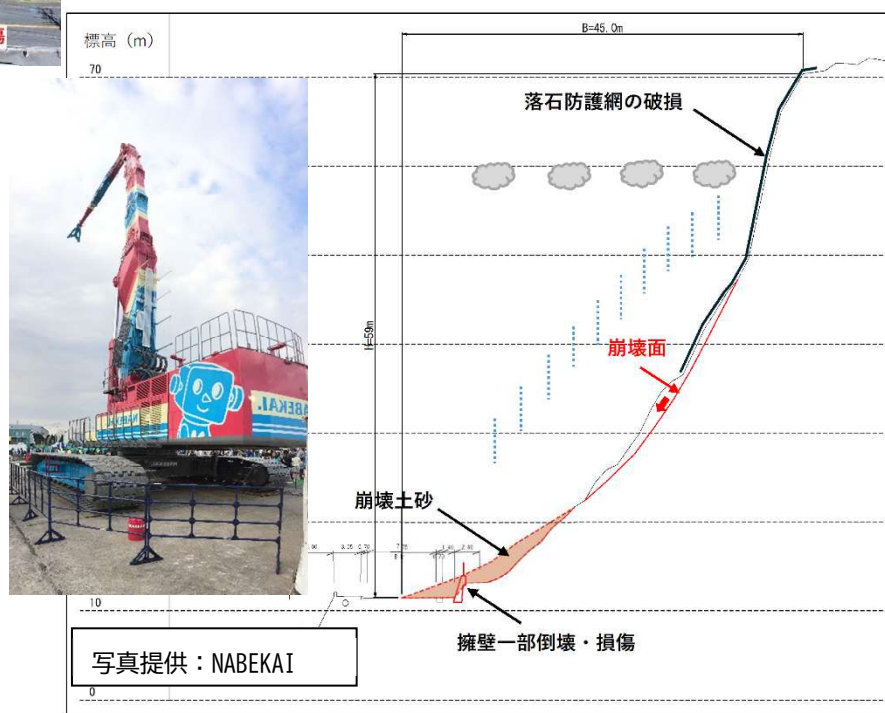


大型解体機の組立状況

■世界最大級の大型解体機

高さ約60mの急峻な斜面に残る土砂や破損した落石防止ネットを安全に撤去するため、作業高さ約65m級の大型解体機を活用します。

本機械は通常、高層マンションやビルなどの解体工事で使用される超大型機械であり、本工事では斜面上部の土砂等を安全に撤去するために採用しました。



写真提供：NABEKAI